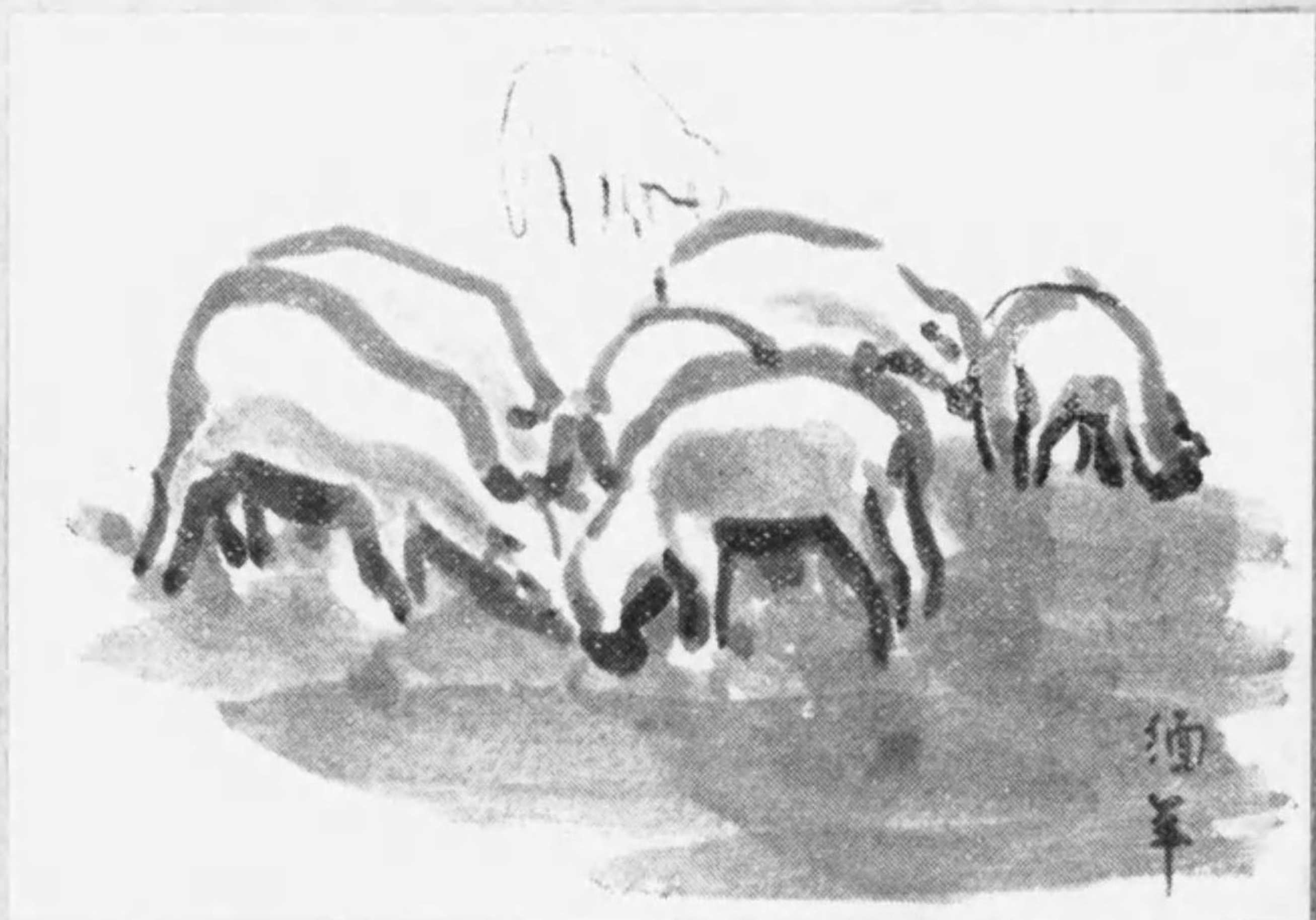


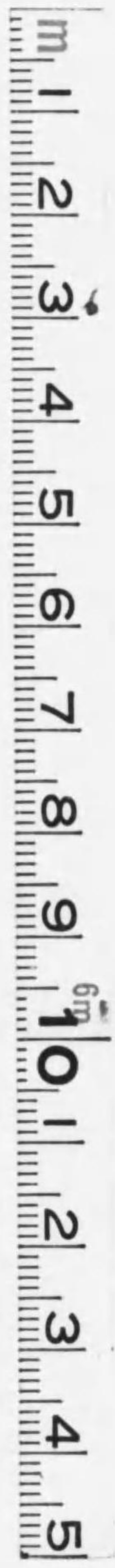
中部北海道の景勝:

特251

990



北海道景勝地協會



始



特 251  
990

# 中部北海道

## の景勝地

### 一、支笏湖及中山峠

石狩國札幌郡豊平町、膽振國千歳郡千歳村、虻田郡喜茂別村にして支笏湖、中山峠、無意根山、豊平峽、定山溪温泉等を含む、尙飛地として石狩國石狩郡石狩町、札幌郡篠路村、手稲村の一部、即ち芙戸湖、石狩海岸及び手稲山を含む。

支笏湖、中山峠方面は大部分御料林にして一部國有林あり、芙戸、手稲山方面は大部分私有地である。

本地域は豊平川上流及び支笏湖を繞る山岳地

帯にして大カルデラ湖、活火山、森林、溪谷、温泉等優秀なる風景要素を持ち、札幌、小樽兩市に接近し四季の別なく市民に利用せらるると共に、本道屈指の景勝地域として、道外からの觀光者も多い。

支笏湖は支笏湖火山群の構成する大カルデラ湖で湖面の湖岸線四〇軒、最深三六三米、本邦第三位の深湖で不凍結湖である。藍色の水は廣々として風景は神秘と謂ふより、明朗闊達である。湖水の姫鱒は明治二十七年阿寒湖より移植したもので、春秋の頃釣魚を樂しむものが多い。

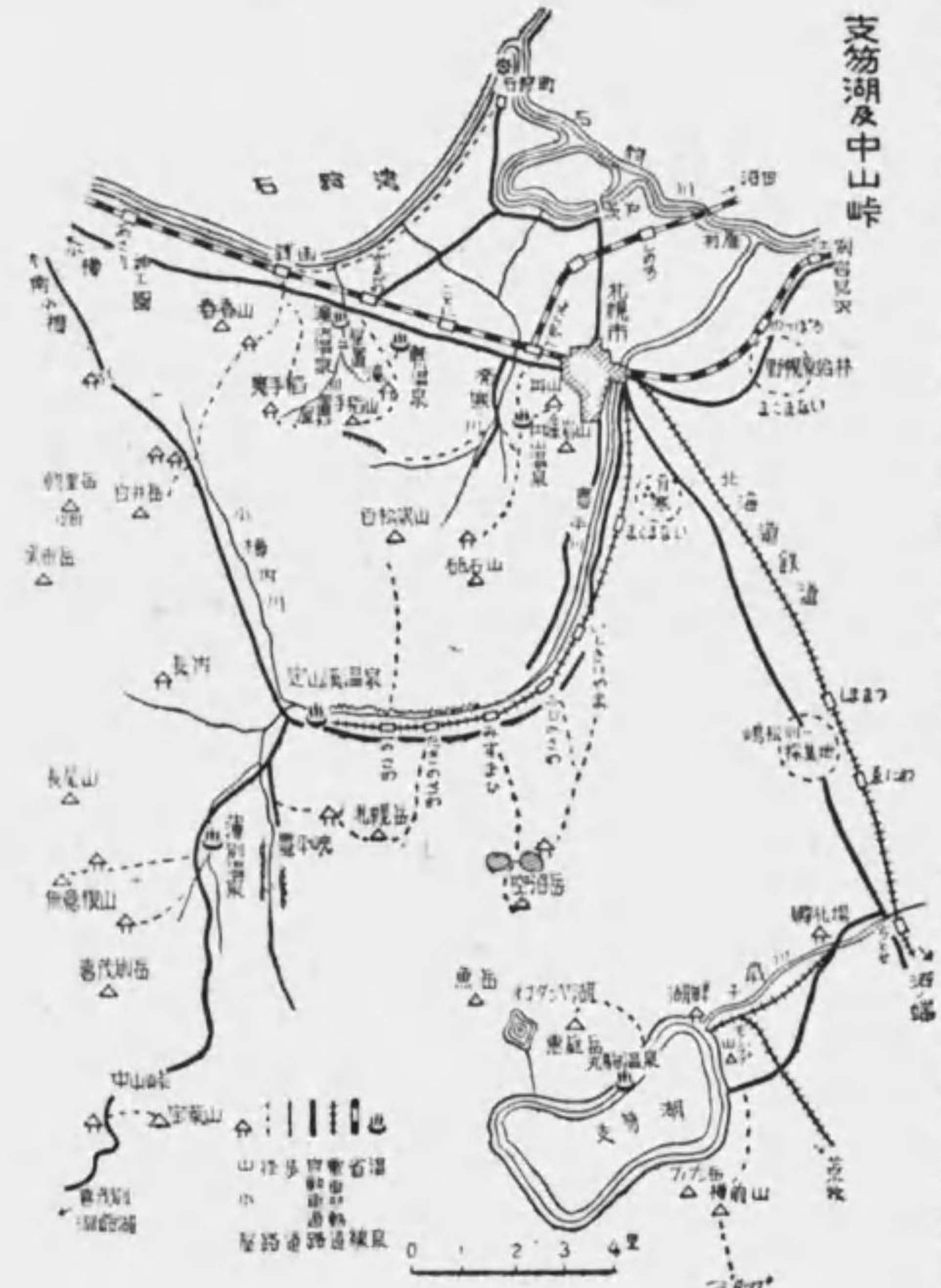
湖水四邊の外輪山は恵庭岳、風不死岳、樽前山を除いては低平な臺地狀を呈し、潤葉樹の森林と共に、湖水風景は極めて明るい。

樽前山は二重式活火山で、明治四十二年春の



爆發は有名で、その時生成した圓頂丘は一偉觀であると共に、ドームの消長に就いては多大な

る學術的興味がかけられてゐる。山頂は風不死岳（マツの多い山の意）の黝々たる針葉樹林に



ひきかへて、熔岩山で淋しいが展望は驚く程廣い、登山は自動車道の終點モーターより登る外、空蘭本線の錦多峯からも登る。

雄偉な山容の恵庭山（銳山の意）は樽前山同様活火山で爆裂火口を持ち、山

頂近くまでミヤマハンノキが生育して、漁岳方面やオコタンベ湖の鳥瞰が優れてゐる。登路は御料林の歩道が丸駒温泉から通じてゐる。

丸駒温泉は支笏湖畔に於ける唯一の温泉旅舎で、清澄な鹽類泉が湖畔から湧出し、大正四年來孤獨な簡素な山の湖畔温泉の營みを續けてゐる、交通は唯發動汽船で湖水を横斷するより道がない。

湖水は千歳川となりて流出し、その落口が所謂湖畔で、王子製紙株式會社の森林鐵道の終點で社宅があり、遊覧船の用意も出来る。又附近には村營の休泊所と千歳驛化場の分場がある。千歳川は第一から第四迄王子の發電所が出来著しく水量を減少したが其の凄い溪谷は新緑に、紅葉に多くの探勝者を集める。更に下流には清流を利用する北海道廳千歳鮭鱒驛化場があり、

規模廣大にして年に四八〇〇萬尾を驛化する、この邊り河岸の鬱蒼たる潤葉樹の林が美しい。

支笏湖の遊覧は北海道鐵道千歳驛下車、同鐵道會社のバスでモーターラップに達する外、第四發電所から森林鐵道に便乗し終點湖畔に達することも出来る。所謂湖畔とモーターラップ間は約二軒湖水沿ひに歩道が開かれてゐる。この外空蘭本線苦小牧驛から森林鐵道にて湖畔に達し得る。

定山溪温泉、中山峠一帶の所謂豊平川上流地帯は御料林の立派な森林地で札幌市民の日歸りの好休養地であり特に登山地、スキー地として親しまれつつある。

無意根山、札幌岳、其の他空沼岳山頂部はハイマツ帯で高山植物も咲き、展望優れてゐる。そして夏道や山小屋も完備し四季の別なく登山者で賑はふ。豊平川及びその支流は何れも溪谷

性を現はすこと多く、その溪谷美は既に定山溪電車沿線や温泉附近に於ても充分知り得る處であるが、更に豊平峡方面は勿論、中山峠に到る自動車道路の沿線からは深奥なる溪谷とこれを覆ふ驚く可き大森林の景觀に接し得られる。

中山峠は石狩、後志シリベツの國境で曾ては札幌——俱知安間の道路の要衝として、驛遞もあり榮へたが、今は驛遞は二里餘の下方黒橋に後退してゐる。峠からは豊平川上流の森林とこれを繞る山々や羊蹄山、ニセコアンヌプリ連峰が見渡される。尙附近の寶來山（三角點）は峠にも増した素晴しく廣大なる展望を樂しむことが出来る。車道から山頂まで三十分立派な歩道が開かれてゐる。

定山溪——喜茂別間の自動車道路は四八軒、札幌——室蘭線地方費道に屬し洞爺湖、ニセコ方面

とも連絡し觀光道路として注目す可きものである。

定山溪の北方小樽内川に沿つては、小樽定山溪バス會社の専用自動車道路があり、南小樽驛迄四〇軒、鬱蒼たる原生林中のドライブを樂しむことが出来る、利用者が多い。

定山溪温泉は四圍御料林を繞らし、豊平川の清流に臨み、主要温泉旅館十軒大厦高樓相並ぶ一ヶ年の利用者十數萬に達すると謂はれ、北海道に於ける有數の温泉地であると共に登山及スキーの根據地である。札幌市とは電車及バスに依つて緊密に連絡せられて居る。

本地域の飛地たる茨戸は、石狩川改修工事の結果成立した湖沼で、遊園地が經營せられ、舟遊、散策、釣魚に遊覽者を集めつつあり。又石狩海岸は石狩町の背後に當り、ハマナスの砂丘

が續き花期六月下旬は深紅の花で丘が燃ゆる様である。附近石狩川口には燈臺もあり散策に適する。札幌驛より茨戸、石狩間はバスが運行する。

スキー地として有名な手稲山は輕川驛から登るもので展望闊達で夏季登山者も多い。山は大部分北海道造林會社の土地である。山麓には輕川鑛泉と瀧ノ澤鑛泉、星置の瀧等があり共に石狩平野を一眸のうちにも収め得て札幌市民の杖を曳く者が多い。

以上あらゆる型式の野外休養素材を網羅する本地域は、最も合理的な連結と個性ある發展が期待されてゐる。

## 二、積丹半島

後志國美國郡美國町厚共岬より積丹郡入舩村余別村を経て古宇郡神惠内村龍神岬に至る迄の日本海に突入すること約六〇軒の海岸地帯大部分は國有地であるが、僅少の民有漁場を有する。

積丹半島沿岸一帯は斷崖奇巖相連續し、壯絶奇勝の風景の繪巻物を展開して居る。殊に西海岸に於て優れてゐる。就中西海岸オブカルイシより沼前岬に至る約六軒の間は代表的のもので最も景勝の美を極めて居る。斷崖峙ち奇巖所々に聳へ、ピヤクシン、イハレンゲ、トドマツ其の他の植物點生し、怒濤巖に激し、其の壯絶營ふべき様もない、實に天下の絶景である。



者一二〇〇名に上つて居る。古平、美國、入舸、余別には夫々郵便局があり、旅館も各地に二三軒宛ある。西海岸にありては、鐵道岩内線の終點岩内町より海路と陸路とがある。海路は岩内港から出る定期發動機船が珊内、川白に停船する。夫れより神威岬迄は特に備船するより外ない。陸路は岩内町より神惠内村川白迄約三軒の準地方費道があり、其の内岩内—盃間約二〇軒の間は四月より十一月迄定期自動車の便がある、川白より先は磯傳ひ或は山間の小徑によるのであるが、險阻にして單獨の旅行は危険である。斯の如く交通不便の爲め探勝者も至つて尠く、宿泊其の他の設備も不完全で、唯珊内に郵便局と旅館二軒を有するのみである。

### 三、夕張岳及芦別岳

石狩國夕張郡夕張町、空知郡山部村、南富良野村に亘り、夕張岳、芦別岳を含む地域、見込面積三四八〇〇陌、全部御料林である。

夕張山脈は日高山脈と共に古生層山地として、特有なる山貌を呈し、石狩平野の東方を境し、その盟主たる夕張岳及び芦別岳の峻險なる山容は札幌方面より容易に遠望され、殊に冬、純白の山肌は多くの人々に膾炙してゐる處である。

夕張岳は西田彰一氏等の植物學者の夙に注目せるもので、ユウバリの名稱を冠するものだけでも、ユウバリウツギ、ユウバリリンドウ、ユウバリコザクラ、ユウバリサウ、ユウバリカニ

ツリ等あり、また山頂の廣い御花畑の景觀は登山者の均しく賞讃する處である。  
従来の登山は根室本線金山驛から御料林の森



林鐵道に便乗し、トナシベツ其の他の澤を溯行してゐたが、近時大夕張方面から白金澤を溯行する歩道が開け、大夕張市街から日歸りも不可能でなくなつた。

芦別岳は夕張岳にも増した峻險なる山姿を呈し、山部驛に向つてユウフレ澤の深い谷を開き根室線旅行者の均しく注目する山である。

近時山部驛から登山路完成し、容易に日歸りし得るため登山者を集めつつある。

夕張、芦別兩者ともスキー地として一般の興味をひくに至つたのは近年のことで、特に芦別岳は交通の便に恵まれ札幌、旭川、帯廣方面よりの登山者、スキーヤーで賑ひつつある。

## 四、狩勝峠

石狩、十勝の國境、根室本線落合驛から新内驛に至る一帯の地、十勝國上川郡新得町に屬し、狩勝峠、佐幌岳を包含する國有林三七三陌の地積を占め、一部分は石狩國空知郡南富良野村に關係する。

本道の中央を南北に縦走する大分水嶺を鐵道根室本線が横斷する地點狩勝峠は北に大雪、十勝の雄峯を望み、南に日高國境に連互するトツタベツ山麓を控へ、廣濶雄大極まりなく而も原始の香高き自然の大景觀を示す。

釧路方面に向ふ列車が落合驛を發すれば直ちに無人の大森林を縫ひ、急勾配を上り懸て山中の寂漠境石狩、十勝の國境狩勝信號所に達する

## 狩勝峠



此處は本道の鐵道線路中の最高地點で、人跡稀にただ鶯の聲のみを聞く。更に一千米のトンネルを出れば眼界遽に開豁となり眼下に十勝の大平原の展開されるの

を見る。左方に高く佐幌岳は巍然たる山肩を表はし、これを連る裾野は麗はしい線を描いて遙かに右方の廣漠たる大平原の中に消へてゐる。

汽車は約四十分の一の勾配でS字形の大カーブを快走して一氣に約四〇〇米を滑降して平野に下るのであるが、車窓に身を寄せて遠望すれば九二五〇方呎の十勝平野は茫洋として雲に連り、更に脚下の谿谷ニウンナイ(樹の茂る謂ひ)に眼を轉すれば、今は點々と白樺の疎林が残されてゐるばかりであるのも興趣深く感ぜられる。

傳説に依れば往時十勝、石狩のアイヌが大争鬪を行つた時に能辯な一少年があつて此の高原に乗り出し十勝アイヌの酋長を説伏せしめたことがあつたといふ。鐵路の兩側指呼の間にある幾百の土饅頭は數十年前、十勝全野を食害して赤土と化せしめたバッタが更に國境を越へて石

狩、日高に侵入せんとした時にその大群を此處に壘殺して埋めたものである。

今より七十餘年前安政五年松浦武四郎が此の地を跋涉探險したのが内地人の最初の記録であり、狩勝の名稱は明治二十九年時の本道鐵道部長田邊朝郎博士が十勝線路選定の際命名したものであるといふ。

十勝國新内―石狩國落合間には昭和六年國道が開鑿せられ、又新内―新得間も既に地方費道に編入せられて自動車の往復も自由に登山は極めて容易となつた。

沿道の展望も列車とは異つた優れた風景を觀賞することが出来る様になつた。近年佐幌岳登山者も漸次多數を加へて居り、將來はハイキング、キャンピングを目的とした遊覽者、自動車を利用する登山者等の激増することが豫想され

る。  
宿泊施設は國境附近にはないが、新内市街に官設驛遞所があり、新得市街には數軒の旅館が有つて宿泊に不便を感じない。

## 五、南日高海岸

日高國幌泉郡幌泉村、襟似郡襟似町及十勝國廣尾郡廣尾町海岸の一部分を含み、アポイヌブリ、襟裳岬、庶野を包含する廣袤實に四五〇〇〇陌の大地積を占めてゐる。土地所有關係は大部分地方費有林に屬し其の他は國有林、私有地である。

本道の中軸日高山脈の南端が太平洋に突出して襟裳岬を形成してゐる。此れに連る汀線は波濤に削られた巖礁と斷崖の連続で、東に廣尾海

岸の絶壁、西に冬島海岸の奇勝を擲げ、植物學上の至寶アポイヌブリ、幌滿川の溪谷美、本道第一の櫻の原生林を有する庶野村及び原始の風貌を其の儘に残してゐる豊似沼を含み、日高連峰を背景として、自然の巧緻を盡した山岳、海岸、溪谷、岩礁の大風景を以て構成されてゐる。

此の風景を貫ぬく道路は、日高、十勝兩國を聯絡する日勝道路で廣尾—猿留間約二四軒の間は八年の歳月を費し六十餘萬圓の巨費を投じ昭和九年完成を見た。美しいコンクリートの波除を持つ長距離の海岸道路坦々砥の如く其の名も黄金道路と呼び馴らされてゐるのも頷かれる程で、實にドライブウエーとして本道第一の名聲を恣にしてゐる。

### アポイヌブリ

のアポイヌブリを主峰として西峰を冬島岳、北峰を襟似岳と呼ぶ。日高國襟似郡襟似村字冬島の東北に位し、北はピンネシリ（男山）を経て十勝との國境である日高山脈の嶺峯に連り、東は幌滿川に接し、南麓は太平洋の浪に洗はれた斷崖を形成してゐる。

アポイヌ名アポイヌブリは（白樺の山）の意である。山の全部は古生層で主として蛇紋岩から成り、其の端麗な容姿には何人も魅了せられずには居られない。又多種の特有植物を藏し、高度の割合に高山植物の群落が大面積に亘つて居る。即ち五〇〇米以上は森林限界を出て草本偃松帯となつてゐるのである。山麓の森林に保護されてゐる部分は暖地性植物を混へた所謂日高地方植物景観の特有相を示してゐる。殊に著名なのは五葉松原生林であつて植物學的保存の對

象として珍重され、五葉松自生北限地帯として天然紀念物に指定編入されてゐる。

交通は浦河から二四軒、山麓まで自動車の便があり不完全乍ら山頂に達する歩道があるから日歸りも可能である。旅館として適當なものはないが、地元宿舎を利用し得る。

アポイヌブリの東にその山脚を洗つて涼々と流れる幌滿川は源を日高連峰に發し、秘められた幾多の溪谷美を藏してゐる。綠色の光輝を放つ蛇紋岩の峽谷は、十數軒の間續き岩一面躑躅の緋に色彩られる様は他に比類がない。

河口の海岸一帯から冬島にかけて數軒の海岸線は風光明媚を以て著はれ、屹立する斷崖、聳立する海中の諸岩は皆高山性植物を頂き、特有の景観を成してゐる。近海は三石昆布の産地で夏期は丈餘の昆布が夥しく浪に漂ふのも特色あ





る風物である。

**庶野の櫻**

日高の國の東南端に位する幌泉郡幌泉村大字庶野村は太平洋に面し、海濱を距ること約五十米の箇所から平坦な臺地となつて續いてゐる。此の臺地の約三十陌の地積は天然の櫻樹を主體とした潤葉樹の

密林で少數の赤松、黒松、トドマツが混淆してゐる。櫻花は五種類約三千本に及び天然生としては本道随一と稱せられる。春、爛漫と咲き亂れる頃は實に壯觀を極め、近村は勿論十勝、廣尾、浦河方面より杖を曳く者年々増加し、遠く室蘭、函館方面の觀櫻團體も見られる様になつた。

交通機關は浦河町から約六〇軒の間浦河—庶野間に定期自動車あり、海路函館との連絡もある。

宿泊施設としては旅館が二軒あり、その内官設驛選は一日の旅装を解くに充分である。

遠く襟裳岬の第三紀層の臺地が遙に延びて渺茫として霞むを見、仰いで日高山脈の雄峰を望む事が出来る。

**豊似沼**

豊似沼は日高幌泉郡幌泉村大字猿留村地内、觀音岳（一名トヨニヌブリ）の山腹に横はり、其の形狀からして一名馬蹄湖とも呼ばれて居る。觀音岳を初め、一枚岳、二枚岳、三枚岳等の各高峰を繞らし、周圍二軒、水深三八米、幽邃な姿を示して居る。

庶野の櫻の臺地より北方約六軒にして湖岸に達する。四周をトドマツと多種多様な潤葉樹の混淆林に護られ、紺碧の水は飽くまで清冽明澄、湖成の玉石を數ふべく、時に紅鱗の游泳を見る。三伏の夏も減水することがない。

山岳湖としての高度は三〇〇米を超へず、大さに於て支笏湖、チミゲツプ湖に遠く及ばぬが、其の隔絶されて居つた境域は、規模こそ小なれ他に比類なきものであらう。沼を圍む觀音岳、一枚岳、二枚岳、三枚岳等の諸峰は又日高地方

特有の高山植物を多量に包蔵して居る。

此の沼から林道を辿りて峠に登れば、寛政年間に創建せられた観音堂がある。即ち寛政十年幕史近藤重藏従者六十餘名を率ゐて國後、擇捉からの歸途廣尾―幌泉間の新道路開鑿の爲め通行中従者の一人が誤つて断崖より墜死したのを悼み、之れが追善の爲め沼の邊りに小塔を建立した。

交通關係は庶野或は猿留から入る、前者は庶野から舊地方費道並に地方費林々道を経て湖岸に至る約六軒の道程である。此の林道は後者猿留にまで通じて居る。庶野、猿留何れよりする場合も夫々驛遞旅舎を利用するのが便利である尙兩部落共に郵便局がある。

### 廣尾海岸

十勝國の南端に位して十勝唯一の港灣廣尾港

は又有名な海水浴場である。此の市街地の北端より音調津、ルベシベツを経て日高國猿留に至る約二四軒の海岸道路沿線に展開される断崖と巖礁より成る奇景の連続は、實に絶景であつて、殊に廣尾附近には立岩、烏帽子岩、二見岩、丸山公園、フンベの瀧等の優れた名勝地がある。又此の沿岸の早くより開け、郷社十勝神社、陣屋跡、會所、禪林寺觀音像、道路開鑿碑（十勝神社所藏）等著名である。

加ふるに氣温は極寒と雖も零下二〇度を降らず、夏季も炎暑を覺ゆること殆どなく、避暑に避寒に優れた好適の地域である。

廣尾海岸へは根室本線帶廣驛から分岐せる廣尾線約八二軒の鐵道に依るのであるが、同區間には又乗合自動車の便がある。

昭和九年、日勝道路全通により日高方面から

の廻遊が可能になり、南日高海岸の景勝地間を聯絡するコースは山水の妙を極め、多種多様の風景型式を蒐め得た理想的な遊覽道路となつた。

海路は函館―廣尾間一五四湮、釧路―廣尾間六三湮、何れも定期船が就航して居る。

廣尾市街には旅館が七軒、部落には五軒あり、春夏の候十勝の各方面を初め道内各地からの遊覽者の數は年一萬を超へて居る。

429  
262

(中部)  
昭和十七年十月三日北部軍司令部北軍參機第八〇三號檢閱濟  
昭和十七年十月六日大湊警備府檢第一六三七號檢閱濟

昭和十七年十二月十五日印刷  
昭和十七年十二月二十日發行

札幌市圓山南町一四〇三番地

編纂兼 發行者 五嶋甚之助

札幌市大通西五丁目一番地

印刷人 中西吉之助

札幌市大通西五丁目一番地

印刷所 〔北札〕 中西寫真製版印刷所

北海道拓殖部内

發行所 北海道景勝地協會

終

